

はじめての Birthday

晴れて1歳の誕生日を迎える
金山の可愛い子どもたちを紹介します♪

※男の子も女の子も「ちゃん」づけにしています



さんじょう はるの
三條 暖乃ちゃん

【地 区】 十日町
【誕生日】 1月22日

【メッセージ】
にこにこ笑顔で元気に
育ってね♡パパとママ
のところに産まれてき
てくれてありがとう♡

町立金山診療所だより vol.201

ほっとクリニック

赤いオシッコと赤いウンチのお話

ふじやま じゅんいち
町立金山診療所小児科 医師 藤山 純一 先生

赤ちゃんの保護者の方から、「風邪を引いた赤ちゃんのオムツが赤くて心配です」と受診されることがあります。風邪薬を飲んでいて、熱もなく元気な場合には、「アスベリン」という咳止めの薬の影響で、尿が赤く見えることがあります。幼児や小児用の粉薬でも同じようなことが起こることがあり、これは薬の代謝物による色の変化ですので、心配はいりません。

また、熱があるときや夏の暑い時期などには、尿が赤茶色に見えることがあります。これは脱水によって尿が濃くなっている「濃縮尿」であることが多いのですが、赤い色が続く場合には血尿の可能性もあるため、尿検査を受けることをおすすめします。

さらに、園や学校の検尿で「血尿」といわれることもあります。再検査で異常がなければ問題ありませんが、何度も検査で陽性が続く場合は、「無症候性血尿」の可能性があります。この場合は、3〜6ヶ月ごとの再検査で経過をみるのが勧められます。多くはそのうち消失しますが、血尿に加えて「蛋白尿」も認められるときには、慢性の腎炎などの可能性があります。より詳しい検査が必要です。

排尿時に痛みをとまなう血尿の場合は、尿道炎や膀胱炎が考えられます。このときには、尿検査に加えて、陰部や下腹部の診察が必要です。小児ではまれではありますが、尿管結石の可能性を考えることもあります。

一方、便に血が混じる場合についてです。生まれて間もない赤ちゃんの便に血液が混じるときには、ビタミンK欠乏による「新生児メレナ」が考えられます。ただし現在は、生後すぐからケイツイーシロップ（ビタミンK）の投与による予防が行われているため、発症は大きく減っています。

また、下痢と血便が続く場合には、細菌性胃腸炎のほか、腸管ポリープや炎症性腸疾患など、成人にも多い腸の病気が原因である可能性もあります。そのような場合には、詳しい検査が必要になることがあります。

生後半年までの赤ちゃんで、便に点状の血液が見られるものの、よく飲み、機嫌も良い場合には、「リンパ濾胞増殖症」が考えられます。これは腸の内側の小さな凸凹した部分からの軽い出血で、多くは様子を見ていくうちに自然に治まります。

生後3ヶ月から2歳くらいの子でも、繰り返し腹痛や嘔吐があり、

※小児科は、毎週火曜日と木曜日に診療しています。